

「小樽市ふるさとまちづくり協働事業」 事業報告書

1 / 2

団 体 名	おたるワークキッズ			
事 業 名	おたるワークステーション			
実 施 期 間	(ツアー編) 平成27年7月29日・8月5、7日・9月5、19日 (会場編)10月17日			
事業の目的及び期待する効果	市内の子供たちに、地域の様々な仕事を実際に体験する機会を設け、それを通して子供たちが小樽の良さを感じると共に、将来の夢を膨らませてもらえることを目的としています。またこの活動を通じ、地域の人々、企業が交流を深め、地域が活性化し小樽が発展する事を期待しています。			
実 施 額	事業費	558, 000円	助成額	300, 000 円
事 業 内 容	ツアー編(第6回おたるワークステーション)…小学5、6年生を対象に、小樽市内や近郊の企業など約20ヶ所を訪問し、仕事場の見学や作業の体験をしました。募集人数の2倍を超える応募があり、参加者は抽選で決定しました。今回は①～⑦・⑨コースは各6名、9月19日の⑧コースは10名、合計58名の参加でした。 普段は見ることのできないバックヤードの見学や、触れることのできない機械などに触れさせてもらったり、市内や近郊の漁業や農業などの一次産業の体験も貸切バスを利用したりしながら、体験させてもらいました。また、実際に商品を作り接客を行う事で、仕事の大変さや素晴らしさを体験できました。 参加した子供たちは仕事をする際の心構えを学んでくれたと思います。 協力いただいた企業様も子供たちが将来地域で活躍してくれるようお願いを込めて、真剣に対応してくださり、小樽ならではの地域性も伝えられたのではないかと思います。 会場編(第7回おたるワークステーション)…たくさんの子供たちが楽しんで参加できるよう、小学生を対象に全26の簡単な職業体験ブースを準備して体験してもらいました。保護者の方や地域の方にも幅広く知ってもらいたく、10月17日、ウイングベイ小樽で開催しました。定員200名としましたが、大幅に上回る来場があり予想以上の反響となりました。 今回は新たにこども紙幣「キッズ・タルカ」も会場内で流通させ、お仕事をしてお給料をもらったり、タルカで体験やゲームができるようにしました。お金のやりとりを通して仕事以外の事も学べたのではないかと思います。 もう1つ新たな試みとして、屋外ブースも用意し消防や水道設備、大工など、屋外ならではのダイナミックな体験ができるようにしました。 また、当日はツアー編に参加した子供たちの体験発表や、その様子を映したスライドを流しました。			

○事業の日程について

2 / 2

7月29日	第6回おたるワークステーション(ツアー編) ①・②コース
8月5日	〃 ③・④コース
8月7日	〃 ⑤・⑥コース
9月5日	〃 ⑦コース
9月19日	〃 ⑧・⑨コース
10月17日	第7回おたるワークステーション (会場編)

○事業評価について

1. 事業の目的の達成度

第6回、第7回共に、ご協力いただける企業様も増え、子供たちが体験させてもらった内容も実際のお仕事により近いものを企業様が提供してくれ、昨年と比べてもより充実した内容になったと思います。

新たな試みとして、ツアー編では一次産業(漁業・農業)の体験を取り入れ、会場編では屋外ブース(大工、消防など)の体験や、子供紙幣キッズ・タルカを導入するなど、より発展させた形での開催としました。どちらも子供たちが真剣に取り組む姿が見られ、達成度は高いと思います。

2. 参加した方々や、周辺の方々の満足度

昨年から引き続き参加を希望する子供たちも多く、保護者の方からは、普段はできない貴重な経験ができたと評価をいただいております。

また体験したいとの声も多く、参加してくれる子供達だけでなく、保護者の方や協力してくれた企業様からも今後も続けてほしいとの声をたくさんいただきました。

企業様からは、このイベントをきっかけに地域の子供たちが地元の企業を知って後継者が増えてくれるように協力していきたいとお話をいただいたりと満足度は高いのではないかと思います。

3. 今後の事業について

今後も小樽、小樽近郊の地域ならではの企業や仕事を中心にたくさんの仕事を子供たちが体験し知ることができる機会を設けていきたいと思っています。

たくさんの企業様が子供たちの為に協力してくださるそんな繋がりも作っていかれたらと思います。

4. 「小樽市ふるさとまちづくり協働事業」に関する要望事項等